

予算審査特別委員会

平成24年度予算を審査

2月21日の本会議において、平成24年度各会計予算案6件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。  
 予算案は、3月2日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、12日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月28日の本会議において可決されました。

平成24年度予算の概要

各会計予算

区民一人当たりの予算額（一般会計）

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,691億円	△0.6%
国民健康保険事業特別会計	540億8,000万円	1.4%
後期高齢者医療事業特別会計	81億3,800万円	7.7%
介護保険事業特別会計	286億4,900万円	12.9%
用地特別会計	92億2,170万円	△16.0%
駐車場事業特別会計	6億6,860万円	2.1%
合計	2,698億5,730万円	0.7%

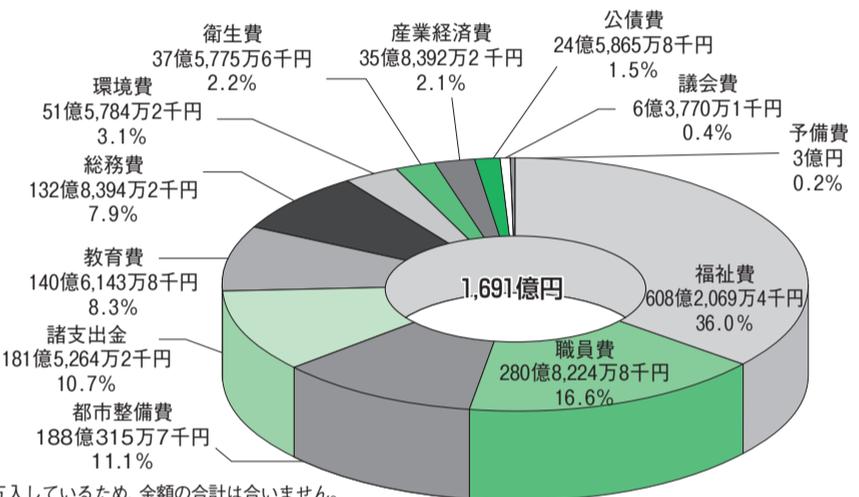
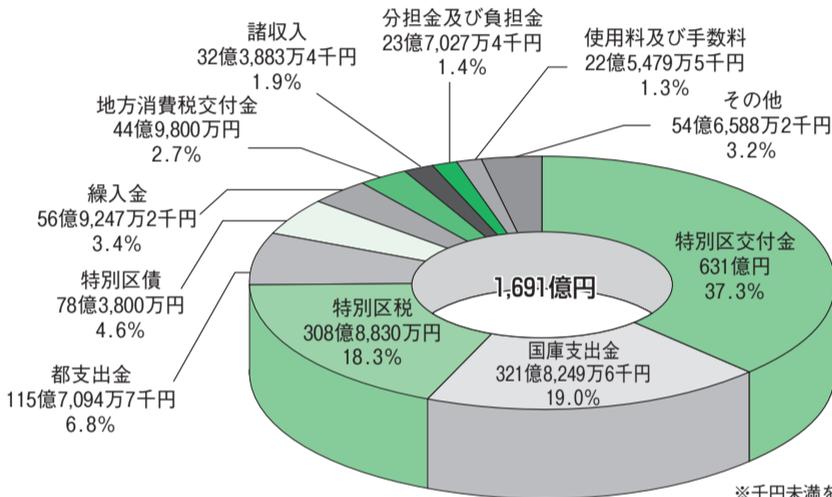
高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	168,425円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	38,520円
災害対策や地域活動、文化振興などに	49,352円
道路・公園整備やまちづくりに	48,265円
清掃事業や環境対策に	15,376円
中小企業に対する融資など産業経済に	8,571円
特別区債の償還などに	5,480円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	40,459円
合計	374,448円

人口は448,671人（平成24年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

一般会計

【歳入】

【歳出】



※千円未満を四捨五入しているため、金額の合計は合いません。  
 ※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

予算審査特別委員会は、平成24年度各会計予算について審査を行うために、2月21日の本会議において、39名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月2日の委員会では、総括質疑を実施し、11名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立って質疑が交わされました。

また、3月5日から8日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月12日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。

その上で、付託議案6件について順次採決を行い、「平成24年度葛飾区一般会計予算」、「平成24年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成24年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成24年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成24年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」、「平成24年度葛飾区用地特別会計予算」は、いずれも賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成24年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成24年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾区議会公明党

誇りあるふるさと葛飾の実現を目指した予算編成を評価

平成24年度予算案は、将来の社会情勢の変化にも柔軟に対応できる財政基盤を固く、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向け、区民ニーズに応えた予算案として編成されたことを評価します。以下、予算案の各款項ごとに我が会派の意見、提案を述べます。

**環境費** 区民・事業者と共に長期的な節電対策などを継続し、環境に配慮した街づくりを求めます。集団回収を拡大しリサイクル事業の進展を望みます。エコライフプラザの行事を充実させ、「りちゃん」の活用・リユースが進むように求めます。

**都市整備費** 街づくり事業は、地元住民などの合意を図りながら、計画に基づいた進捗を望みます。河川を利用したサイクリングロードの整備及び一時置き駐輪場の整備、公園再生事業の計画的推進と観光施策に合わせた公園・児童遊園のペインティング事業の取り組み、区営住宅のエレベーター設置、交通不便地域のバス路線の整備促進を求めます。乗り換え割引制度導入をバス業者へ交渉することを望みます。新小岩駅ホームドア設置に向けJRに積極的な働きかけを希望します。シルバースペース購入時の区独自の助成を望みます。

**教育費** 教育振興ビジョンの改定は、十分な検証を踏まえ、構築することを望みます。また、学力向上の取り組みは目標を定める具体的な施策の展開と教育委員会の熱意ある姿勢を望みます。校務システムについては、導入目的の早期達成を望みます。学校施設でも可能な限りの節電対策を望みます。武道の必修化にもない十分な指導員の研修を実施し、事故がおきないように留意してもらいたい。また事故発生時の近隣の医療機関との連携の構築を望みます。社会教育会館のバリアフリー化を望みます。小児生活習慣予防健康診査の機会を平等にすべきと考えます。飼育小屋の環境整備を望みます。わかまち楽習会の更なる充実を求めます。小中一貫校については様々な検討を望みます。

**各特別会計**についてはこれを了とし、事業の適切な執行を望みます。